

ひこさんがわ

# 彦山川

大任町

田川郡添田町の英彦山(標高1,199.6m)を源流とする全長36kmの彦山川は、大任町の中央部を南北に貫流し、直方市で遠賀川に合流、響灘にそそぎます。明治の中期(1890年代)、鉄道が開通するまでは、物資の運搬は主として彦山川を行き来する川舟(川ひらた)に託してました。

彦山川は、大任町の自然環境保全のシンボルであり、町では平成7年、しじみ育成保護条例を制定し、河川の浄化に取り組んでいます。

大任町では、一年を通じて季節を感じながら楽しめる祭りや催しが行われています。4月の「花としじみの里おおとうマラソン」、7月の「しじみの稚貝放流」及び10月の「しじみ祭り」は、町の代表的イベントとして町内外から多くの人々が訪れ、町に活気を与えています。



川渡り



大行事井堰



しじみ稚貝の放流



おおとうマラソン



しじみ祭り

下のアイコンとマップ上の●をクリックすると写真が表示されます。



町の花・菜の花 町の花木・椿 町の木・松 町の鳥・めじろ

## 川渡り

川渡り神幸祭といえば、田川市の風治八幡神社県無形民俗文化財指定の「川渡り神事」が有名ですが、大任町においても5月2日、3日の両日「神輿の川渡り」が行われています。  
秋永に鎮座する貴船神社の神幸祭は、梅田地区、秋永地区、島台地区が毎年交替で執行している。  
神輿は六人担ぎで、白狩衣に烏帽子、草履がけの若者が、神社下から昔から定められた300メートルほどの「神社道」を通って彦山川へ向かう。  
川渡りの場所は、梅田橋のやや下流であり、昔はお供人全部が川を渡っていました。神官も人の背中で渡ったといいますが、今は神輿だけが渡り、他のお供人は橋を渡ります。

## 英彦山



彦山川の源である英彦山は福岡と大分の県境に位置し、古来より神聖な山として信仰を集め、山伏の修験道の霊場として有名で日本三大修験の山(吉野、熊野、英彦山)の一つです。



香春町

大任町

おおとうマラソン

(--- コース)

彦山川

田川市

赤村

しじみ稚貝の放流

大任町役場

神輿川渡り

大行事井堰

川崎町

添田町

至英彦山



菜の花と彦山川

## しじみ祭り

シジミ1個が1日にコップ一杯の水を浄化することに着目し、「町民一人一人が1個のシジミとなって町をきれいにしていこう」という趣旨で、昭和62年(1987年)から始まりました。  
六本松付近の「彦山川河川敷」を主会場とし、毎年10月の最終日曜日を開催日と定めています。開会式後に、クリーンアップ作戦と称して全員で彦山川の清掃活動を行うなど、参加者の意識をうまく自然環境の保護に向けさせています。また、この日はシジミ育成保護条例で保護されているシジミの採取が解禁となり、彦山川はシジミを採る人でいっぱいになります。



## 大行事井堰

明治元年、当時の大庄屋であった南野直七が20カ月の歳月を費やし完成させ、その構造は現代土木工学でも十分評価できるものでした。その後、昭和51年、現在のコンクリート固定堰となり、成光、東白土の21.5ヘクタールの農地を潤しています。

[出典・資料提供]

大任町町勢要覧

大任町史「ふるさと大任」

URL <http://www.town.oto.fukuoka.jp/>